

2026 年 7 月 28 日

各 位

株式会社福井銀行

環境省「令和 8 年度 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」 の採択について

株式会社福井銀行（頭取 長谷川 英一）は株式会社あいち銀行、株式会社アイシン、愛三工業株式会社、福井鋳螺株式会社、セレンディップ・ホールディングス株式会社との共同申請で、環境省の支援事業である「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業（公募枠 3：取引先大企業とのエンゲージメント協業）」に採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本モデル事業では、自動車サプライチェーンにおける Tier2・Tier3 の中堅・中小サプライヤーを主な対象として、福井銀行・あいち銀行の 2 行が連携の中核を担い、製造業・専門機関と一体となって「歩留まり改善・省エネによる原価低減」と「GX 素材導入による Scope3 削減」を同時に実現する支援モデルの構築を目指します。福井銀行は代表申請者・事務局として全体統括およびコンソーシアム運営を担い、北陸圏における企業発掘・伴走支援を主導してまいります。

福井銀行は、お客さまの課題解決のため、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた取組支援を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 事業名

福井銀行・あいち銀行による自動車サプライチェーンの「コスト構造改革と産業競争力強化」を通じた脱炭素経営促進モデルの構築

2. 事業概要

本事業は、Tier2 以降の中堅・中小サプライヤーが単独では対応困難な「原価低減（歩留まり改善等の合理化）」と「材料グリーン化（GX 素材導入）」を、福井銀行・あいち銀行の 2 行がコーディネーターとなり、製造業・専門機関との連携によって同時に実現するモデルを構築するものです。

具体的には、以下の3つの取組みを柱として進めてまいります。

取組み	具体的な内容
① サプライヤーへの「実務代行型」伴走支援の仕組み構築	リソース不足の中堅・中小サプライヤーに対し、大企業（製造業）がノウハウ・技術を直接提供する実務代行型の伴走支援モデルを構築します。 従来の「要請型」から「寄り添い型」へと支援スタイルを転換し、地域金融機関がその橋渡し役を担うことで、中堅・中小企業の体質強化と生産性向上を目指します。
② 「大企業×地域金融機関」連携による新しい支援アプローチの開発	大企業が持つ仕入先支援ノウハウ・現場知見・実践知を結集し、省エネ・脱炭素を起点とした段階的な支援ツールの開発を目指します。
③ PMI 支援先等を含むトライアル・横展開	取組み①②で構築した支援モデルを、M&A 後の経営統合プロセス（PMI）支援先にも展開します。 「脱炭素」と「コスト削減」の両立を PMI 支援の新たな切り口として活用することで、地域金融機関にとって魅力的な新しい M&A 支援モデルの確立を目指します。

3. 申請者

株式会社福井銀行（代表申請者）、株式会社あいち銀行、株式会社アイシン、愛三工業株式会社、福井鋳螺株式会社、セレンディップ・ホールディングス株式会社

4. 実施期間

2026 年 7 月（採択後）～ 2027 年 1 月

以 上